

来・ぶらり

RYUKOKU UNIVERSITY LIBRARY NEWS

龍谷大学
図書館報

No. 63

<https://library.ryukoku.ac.jp>

CONTENTS

- 01 巻頭言
- 02 学生に薦めたいこの一冊
- 04 大宮図書館 Web 展観
「禿氏祐祥〜知の先人〜」開催
について
- 06 2020 年度後期開催の瀬田図書
館ミニ展観紹介
- 08 来館しなくても利用できる図書
館サービス

〈TOPICS〉

2020年度の新型コロナウイルス対策

- ・感染拡大防止のため、次のような対応を行いました。
- ・自宅から利用できる図書館サービスの案内(一覧で紹介)
- ・図書、複写物の郵送サービス(および取置サービス)
- ・電子ブックの試読実施、リクエスト機能の開始
- ・LibrariE(ライブラリエ)の導入
- ・データベース・電子ジャーナル・電子書籍の閲覧範囲の拡大
- ・オリエンテーション動画のHP掲載
- ・展観・展示のWeb化、オンライン対応の推進

夏から第2学期にかけては、来館利用の再開のために以下の取り組みを行いました。

- ・閲覧席の制限(ソーシャルディスタンスの確保)
- ・パーティションの設置
- ・スタッフによる机などのこまめな消毒実施
- ・書籍消毒器の導入

また、閲覧席の利用を制限していることから、Twitterで混雑状況をお知らせし、その際、できる限り有益な情報を添えるよう心掛けています。みなさんのリツイート、いいねが励みになります。フォローよろしくお願いします。



「リアル」としての 図書館の存在意義

龍谷大学図書館長
竹内 真彦

新型コロナウイルス感染症の流行により、人類の生活は大きく変化することを余儀なくされました。大学に絞ってみても、(特に都市圏にある)多くの大学ではオンライン授業が主となり、対面授業をほとんど実施できなかった大学や学部も存在します。今回の事態が生ずる前には想像もできなかったことです。

当然、図書館のありようも大きく変化せざるを得ませんでした。例えば、大学に来られない学生のための図書の郵送サービス。あるいは、電子図書館サービスである「LibrariE(ライブラリエ)」の開始。いずれも、大学ひいては大学図書館に来ることのできない学生が、図書館の蔵する「知」にアクセスするための手段です。

この両者のうち、電子図書館サービス「LibrariE」は、恒久的に残ります。現在、このサービスによって「貸し出し」できる図書は約1000冊ですが、図書の入れ替えをしつつ、徐々に充実してゆくことになります。遠い未来の話ですが、図書館の蔵する全ての図서가、電子図書館サービスを介して、オンラインの電子書籍の形で「貸し出し」される日が来るのかも知れません。

それでは、その時、「リアル」としての図書館(所蔵図書とそれを保守するための建造物)は存在意義を失うのでしょうか?

現時点では、「そんなことはあり得ない」と多くの人は思うでしょう。しかし、「リアル」の図書館で可能なことが、電子図書館サービスで全てできるようになれば、(理窟としては)「実体」の図書館は不要です。逆に言えば、「リアル」の図書館でしかできないことがある限り、その存在意義は残っていることになります。

そして、現時点で図書館の様々なオンラインサービスが苦手としていることが確実に一つあります。それは図書との「出逢い」です。

オンラインショップで図書を購入することを想像してみてください。購入したい図書は決まっているでしょうから、書名や著者名で検索するのが普通でしょう。そして、目的の図書が見つければ、そこで「終わり」です。おそらく目的としている図書(と関連していそうな図書)以外はほとんど目に入りません。電子図書館サービスで図書を借りる場合も、これに近いことになります。「他の図書」は眼に入りにくい、つまり「出逢わない」のです。

ところが、「リアル」の図書館は違います。眼を瞑って歩かない限り、全く興味のない図書も否が応でも視界に入ります。そこに「出逢い」が生まれます。それまで自分が触れようとしなかった世界がそこにあるのです。

というわけで、学生の皆さん、当面は安全に注意しつつ、図書館に足を運んでください。図書館にゆく度に、新しい「出逢い」が生まれることを願っています。

学生に薦めたい この一冊

『古代の都：なぜ都は動いたのか』

吉村武彦, 吉川真司, 川尻秋生 [編] 岩波書店 2019 年



古代の「都（みやこ）」は、天皇の居所である「御屋（ミヤ）」と場所を示す「拠（コ）」が原義である。7世紀初め頃、飛鳥に固定化された都は、その後なぜか場所を転遷した。この日本古代史における最大の謎に迫ったのが本書である。編者を含め、5人の考古学者、文献史学者がこの課題に取り組んだ。最新の調査・研究成果をわかりやすく盛り込みながら新説を展開する内容に興味を尽きない。一読をお薦めする。

文学部教授 國下 多美樹

深草図書館
深草 和顔館開架
210/3/ヨコタ
資料番号 11905015571

『一九八四年』

ジョージ・オーウェル [著] 高橋和久 [訳] 新訳版 早川書房 2009 年



憲法で保障されているはずの表現の自由や学問の自由が脅かされつつある現在、若い世代に読んでもらいたい「古典」のひとつです。架空の全体主義社会が描かれていますが、作中の「過去が消され、その消去自体が忘れられ、嘘が真実となる」や「記録は一つ残らず廃棄されたか捏造され・・・(中略)・・・日付まですっかり変えられてしまった」といった描写には思い当たるところがありませんか。多言は弄しません。是非、一読を！

経済学部教授 佐々木 淳

大宮図書館
大宮 2F 学生選書コーナー
081/2017/43
資料番号 21700039931

瀬田図書館
瀬田 本館 B1 開架
933/ オンセ
資料番号 31900003956

『富士山噴火と南海トラフ：海が揺さぶる陸のマグマ』

鎌田浩毅 [著] 講談社 2019 年



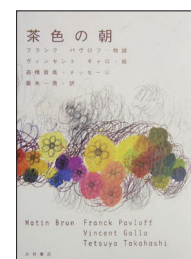
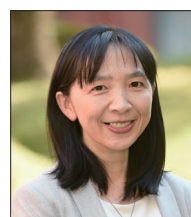
現在、龍谷大学に学ぶ学生の多くが存命中に南海トラフ巨大地震が日本を襲う可能性が非常に高い。また、富士山は前回の噴火からすでに 300 年以上を経て、いつ噴火してもおかしくない時期にあり、南海トラフ巨大地震が噴火を誘発する恐れがある。つまり、名古屋や大阪が地震で甚大な被害を受けて間もなく、富士山噴火で東京の都市機能まで麻痺することも予想される。人的・経済的な被害は計り知れず、日本社会のみならず世界経済にも影響が出るかもしれない。本書は地球科学の本であるが、将来、政治や経済に携わる学生にこそ読んでもらいたい本である。

経営学部教授 國松 豊

瀬田図書館
瀬田 本館 1F 文庫
081/コウタ/2094
資料番号 31900003592

『茶色の朝』

フランク・パヴロフ [物語] ヴィンセント・ギャロ [絵] 藤本一勇 [訳] 大月書店 2003 年



20 年ほど前にフランスで人気を博した寓話（教訓を含むお話）です。本文 29 頁、解説を含め 46 頁。中高生にも理解できる平易な言葉で著者は語りかけます。主人公は、国が決めた法律に対して、変だなと思いつつも、国が決めたことだし、私は忙しいし、文句を言っても仕方がない、と自分に言い訳しながら、友達との楽しい日常を優先します。その結果、迎えた茶色の朝。主人公は、いつどこで何をすべきだったのか。考えてみてください。

法学部教授 若林 三奈

深草図書館
深草 和顔館開架
953/ ハフチ
資料番号 11805023248

瀬田図書館
瀬田 本館 B1 開架
953/ ハフチ
資料番号 31800008620

『「空気」を読んでも従わない：生き苦しさからラクになる』

鴻上尚史 [著] 岩波書店 2019 年



学生さんが話しているのを端で聞いていると、どうやら多くが「空気」を読んで「キャラ」を演じて生きているようである。実は「空気」は日本独特のもので、外国には存在しない。では一体この「空気」とは何だろうか。周りの「空気」を気にして、本当の自分らしく生きるってどういうことだろうか。本書は、「空気」を読んでも従わずに生きる方法について述べている。また、中高生でも読めるようにわかりやすい文体で書かれている。ぜひ一読して自分らしく楽に人生を歩んでほしい。

政策学部教授 大島 堅一

深草図書館
深草 文庫・新書
081/イワナ/893
資料番号 11900009548

『経済成長主義への訣別』

佐伯啓思 [著] 新潮社 2017 年



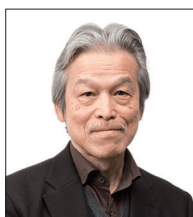
経済成長によって人類は豊かさを手に入れた。そして、豊かさを確保するためには経済成長が不可欠であるという考え方は、ごく当たり前のように思われる。しかしはたしてそうであろうか？ 答えは NO であるというのが佐伯の主張であり、この一見異端ともいえる考え方は近年世界的には広まりつつある。他方、日本では驚きをもって迎えられかねない。なぜ NO かということをつき詰めて考える必要が、今まさにこのコロナ禍の中にいる私たちにはあるだろう。

国際学部教授 斎藤 文彦

深草 和顔館開架
331.19/サケ
資料番号 11705012048

『世界のたね：真理を探究する科学の物語』

アイリック・ニュート [著] 猪苗代英徳 [訳] 上, 下
KADOKAWA 2016 年



随分昔に読んだ『世界のたね』を改めて読むと、科学の発見、発明の歴史が、文明に及ぼしてきた影響をこれほど平易に、面白く書いた本があったことを改めて思い出した。対象となる読者を中学・高校生や小学校の高学年でも読めるようにと、平易な文章（翻訳であるが）で語っている。書き手の博識と深い洞察に裏づけられた視点で描かれており、サイエンスが苦手な方でも楽しめる貴重な読み物である。

先端理工学部教授 森田 善久

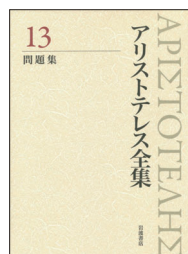


深草図書館
深草 和顔館開架
402/ニアセ/1
資料番号 12000003747

深草 和顔館開架
402/ニアセ/2
資料番号 12000004395

『問題集』

アリストテレス [著] 丸橋裕, 土屋睦廣, 坂下浩司 [訳]
岩波書店 2014 年



多くの学問はアリストテレスに起源があります。しかし彼の著作は難解で、とても一朝一夕に読める代物ではありません。しかし『問題集』は別です。これはアリストテレスの残したメモを集めたもので、「耳垢はなぜ苦いのか」「腋の下はなぜ臭いのか」「人間が音の調和を愛するのはなぜか」「風が吹き止む直前に強くなるのはなぜか」など、多彩な領域におよぶ疑問とその答えがわかりやすく記されています。卒論やレポートで問題を探るのが苦手な人は、この本を読めばそのコツをつかめると思います。

社会学部教授 村澤 真保呂

深草図書館
深草 和顔館開架
131.4/アリス/13
資料番号 11400028860

大宮図書館
大宮 3F 開架図書
331.5/ARI/13
資料番号 21405014638

『反穀物の人類史：国家誕生のディープヒストリー』

ジェームズ・C. スコット [著] 立木勝 [訳] みすず書房 2019 年



ホモ・サピエンスは、なぜ密集した状態で定住し、わずかな家畜と穀物と一緒に、国家に支配されて暮らすようになったのか？ 政治学者、人類学者のスコットは、この素朴な疑問を切り口に、農業と食について、国家というシステムの成り立ちについて、そして、新型コロナウイルスの脅威にさらされる現在の生活について、私たちの考え方の前提をおおきく揺さぶり、これまでにない歴史世界を描き出します。同じ著者による『ゾミア-脱国家の世界史』とともに、じっくりと読んでいただきたい一冊です。

農学部教授 落合 雪野

瀬田図書館
瀬田 本館 B1 開架
209.2/スシハ
資料番号 31900027055

『本へのとびら：岩波少年文庫を語る』

宮崎駿 [著] 岩波書店 2011 年



アニメーション界に革命を起こした著者が、幼いころに夢中になって読んだ児童文学作品の魅力を語る 1 冊。病弱で学校を休んでばかりの幼少期の著者は、どこでも読んでいたというほど児童文学に心を慰められたという。児童文学は「何かうまくいかないことが起こっても、それを超えてもう一度やり直しがきくんだよ」「生まれてきてよかったんだ」というメッセージを持つと著者は説く。『星の王子さま』『床下の小人たち』『飛び教室』…心が乾いたそのときにこそ、懐かしい児童文学作品と再会してみたい。

短期大学部准教授 生駒 幸子

深草図書館
深草 文庫・新書
081/イワナ/1332
資料番号 11100044783

瀬田図書館
瀬田 本館 1F 文庫
081/イワナ/4-1332
資料番号 31100041181

大宮図書館
大宮 2F 開架図書
081/IWA/1332
資料番号 21105015906

大宮図書館 Web 展観

「とく し ゆ う し ょ う禿氏祐祥～知の先人～」開催について

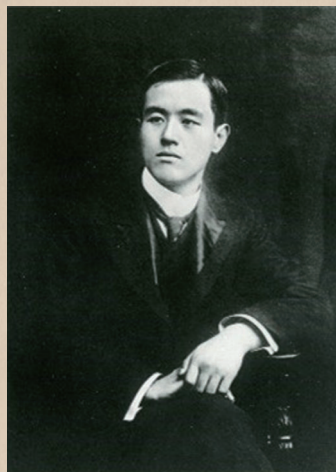
大宮図書館展観について

大宮図書館では、毎年秋 10 月 18 日の報恩講を挟んだ約 10 日間の期間、大宮キャンパス本館展示室で展観を開催しています。展観では、それぞれの回でテーマを設定し、普段、利用者の方々が自由に閲覧することができない貴重資料を中心に、展示・公開を行ってきました。見学者は、学内だけにとどまらず学外を含め、毎回 1000 名前後の方々にご覧いただいています。

近年では、仏教の宇宙観を表現した天体儀の 1 つである縮象儀しゆくしょうぎの修復を記念した「むかしの科学あれこれ」や西本願寺第 22 代宗主大谷光瑞師しゅうしゅおたにこうずいの遷化 70 年記念として、光瑞師の足跡を辿った「大谷光瑞師の構想と居住空間」などを開催してきました。



「縮象儀」
(2015 年度展観「むかしの科学あれこれ」)



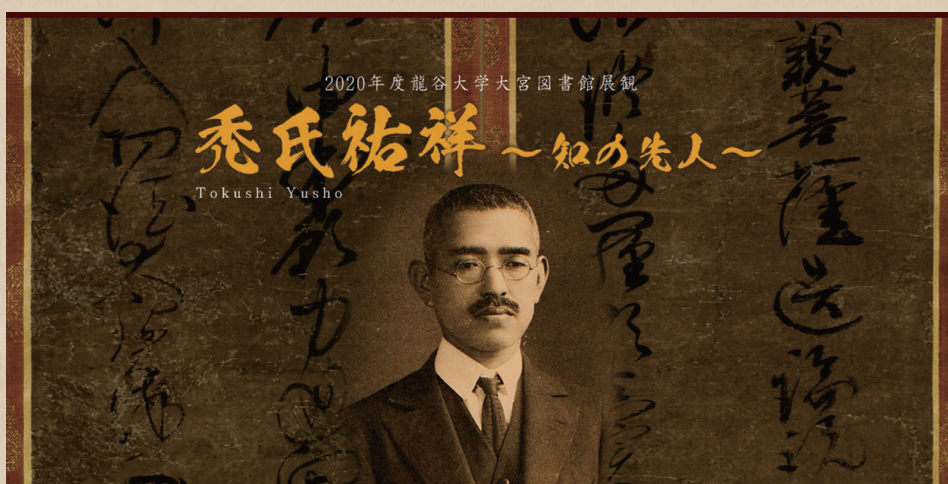
「大谷光瑞師肖像」
(2018 年度展観「大谷光瑞師の構想と居住空間」)

Web 展観の企画について

2019 年度展観は、本学の 380 周年記念事業のため休止となり、2020 年度は 2 年ぶりの展観となる予定でした。しかしながら、コロナウィルスの影響により、4 月に政府から緊急事態宣言が出されると、状況は一変しました。いわゆる「3 密」を避ける形での展観の開催を考えましたが、やはり通常開催は難しいとの結論に至りました。

そこで、図書館が運用している貴重資料画像データベース「龍谷蔵」(<http://www.afc.ryukoku.ac.jp/kicho/top.html>)を用いて、図書館のホームページ上で画像や動画による Web 展観を企画することになりました。何十年と続く展観の歴史の中で初めての企画です。Web 展観は、貴重資料を直接見ることはできませんが、興味を持たれた資料については、展示箇所だけでなく、全てのページが Web 上で閲覧できるといったメリットがあります。また、例年の展観と違い、開催期間や時間帯を気にせずに、好きな時に好きなだけ見ることが可能です。

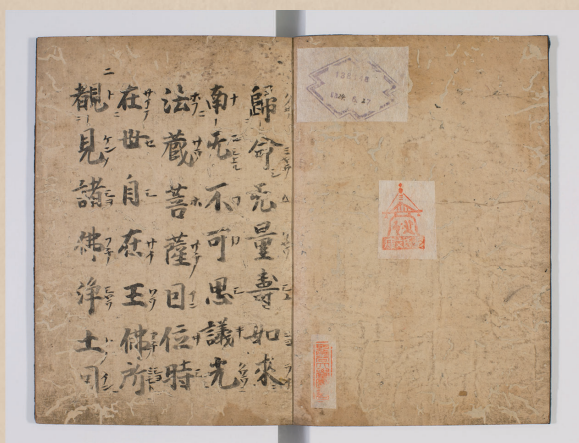
「禿氏祐祥～知の先人～」開催について



「2020 年度大宮図書館展観（Web 展観）「禿氏祐祥～知の先人～」
トップページ (https://opac.ryukoku.ac.jp/2020_tokushibunko_prod/)

2020 年度展観テーマは、本学の名誉教授であり、仏教学者、書誌学者として著名であった禿氏祐祥先生（1879 ～ 1960）の没後 60 年を記念して「禿氏祐祥～知の先人～」を開催しました。展観では、先生の代表的な著書である『東洋印刷史序説』をはじめ、真宗学・仏教学をはじめ多くの資料を有する先生の旧蔵書であり、現在大宮図書館の蔵書となっている「禿氏文庫」の中から、『正信念仏偈』^{しょうしんねんぶつげ}（延徳 3 年（1491）写）や「無垢浄光陀羅尼並塔」^{むくじょうこうだらにならびにとう}など数多くの貴重な資料が公開されました。

Web 展観の公開に伴い、3 キャンパスの各図書館では、2020 年 12 月から 2021 年 3 月にかけて、ミニ展観として、一部の資料を展示し、実際に現物を見学していただく機会も設けました。



『正信念仏偈』



「無垢浄光陀羅尼並塔」

2020 年度後期開催の瀬田図書館ミニ展観紹介

瀬田図書館では年間約 30 件のミニ展観を企画・実施しています。今年は新型コロナの影響で開館日数も減少して、ご利用の皆さまには大変ご不便をおかけしていますが、例年同様、各種ミニ展観を企画・実施しています。また、コロナ禍ならではのオンラインミニ展観など、少しでも皆様に図書館をご利用いただけるよう工夫しました。後期については、10 月以降、秋をテーマにしたミニ展観やレポート論文展（後期編）、ライブラリーアドバイザー（瀬田図書館独自の学生団体）企画のお薦め本など多彩なテーマでミニ展観を実施しました。コロナ禍で利用者が減少する状況でも貸出率 140% のミニ展観もありました。

「レポート・論文展（後期編）」

レポートと論文との違いや実験レポート・卒業論文などの書き方を学べる展観です。大学生になりレポートを書き慣れない 1 回生の方から、卒業論文を作成する 3・4 回生の方まで、学年に応じた資料を紹介し、全学年の学生の方が興味を持っていただける資料を多く展示しました。

場所：本館 1 階入口横

期間：2020 年 11 月 2 日～12 月 24 日



「スキマ時間はタカラの時間」

何か新しいことを始めたいけれど、忙しくて時間が……。
スキルアップをしたいけれど、なかなか続かなくて……。
そんな悩める学生へオススメの、短時間・短期間で学習いただけるような、多種多様な分野の書籍を展示しました。

場所：本館地下 1 階

期間：2020 年 11 月 2 日～11 月 29 日



「秋といえば…〇〇の秋！」

皆さんは「〇〇の秋」というと〇〇にどんなワードが思い浮かびますか？
今回の展観では〇〇に入りそうな「食欲」「芸術」「スポーツ」「読書」「睡眠」の 5 つのテーマに分けて図書を紹介しました。

場所：本館 1 階新聞コーナー前

期間：2020 年 10 月 5 日～11 月 26 日



ライサポ企画「知識の幅を広げよう！」

新型コロナの影響で長くなった家での時間、有意義に使いませんか？勉強や生活に役立つ本から、趣味の本、眺めるだけでも楽しい図鑑までいろいろ集めてみました。

場所：本館 1 階 ミニ展観コーナー（受付カウンター前）

期間：2020 年 12 月 1 日～2021 年 1 月 11 日



「本で世界旅行～お部屋で旅しよう～」

海外旅行が出来ない今だからこそ、お部屋で世界旅行を満喫できるように世界のあらゆる本を Lib アドメンバーが選書しました。

場所：本館 1 階ミニ展観コーナー

期間：2020 年 11 月 10 日～2021 年 1 月 12 日



ライブラリーサポーター（ライサポ）

ライブラリーサポーターとは、様々なテーマに合わせたお薦め本の紹介・展示やビブリオバトルの運営など、皆さんに図書館に親しんでもらうための活動をしている団体です。活動は月に 1、2 回程度、お昼休みや授業終了後に行っています。ミーティングで紹介する本のテーマを決め、展示の企画・運営を行っています。また、年 1 回開催される高校生ビブリオバトル滋賀県大会では、大会の運営や司会をしています。

年間を通じて随時、メンバーを募集しています。本が好きな方、ビブリオバトルに興味がある方には特にお薦めです。



ライブラリーアドバイザー（Lib アド）

ライブラリーアドバイザーとは、1 年間経験を積んだ図書館アルバイトで構成された団体です。図書館の正面玄関にあるデジタル掲示板や Lib アド通信の作成、オススメ文庫本や DVD の紹介など、様々な企画を実施しています。

本館 1 階 Lib アドカウンターに **平日 13 時 30 分～17 時**にいます。

図書館のことで分からないことがあれば、気軽にお尋ねください。

目印は「**赤いエプロン**」です。

毎年年末に図書館のアルバイトを募集しています。
学業との両立を図りたい人には特にお薦めです。



来館しなくても 利用できる 図書館サービス

2020 年度はコロナ禍のため、社会全体でオンライン対応が進みました。図書館は本がたくさんあり、それを利用してもらうところですが、インターネットで利用が完結できるもの、インターネットで利用が快適になるものなどがあります。ここでは、ちょっとした準備やコツとあわせて紹介します。

1. 蔵書検索 (OPAC)

コツその1 気になる図書が、他キャンパスの図書館にあるときは、予約してみましょう。受取館に届いたらメールが飛んできます。取り置き期間は 1 週間。

コツその2 デフォルトの簡易検索から詳細検索に切り替えて「電子ブック」のみを選んでから検索してみましょう。「本文へのリンク」から電子書籍の画面に進んでください。読めない場合は次の項目へ。

2. 学外からの電子ブック、データベースの利用

(1) VPN 接続、学認

大学が契約している電子ブックやデータベースを、学外から利用するときには、認証が必要です。龍谷大学では「VPN 接続」「学認」という 2 つの方式を使っています。少々面倒ですが、2 つとも手順を動画で確認してください。動画は図書館 TOP ページにある「学外から電子書籍を読む方法」と、「学認 (学術認証) の利用手順について」の 2 つです。

(2) 電子ブック

電子書籍、eBook と呼ぶこともあります。日本語の本を利用できるプラットフォームには以下のようなものがあります。

- ・ Maruzen eBook Library
- ・ LibrariE
- ・ EBSCO eBook コレクション
- ・ JapanKnowledge Lib
- ・ 日経 BP 記事検索サービス
- ・ KinoDen

コツその3 全文検索で調べてみましょう。読書するには紙の本のほうが読みやすいかもしれませんが、電子ブックならではの利用方法として図書の本文全体からキーワード検索するという使い方です。知りたい内容が、思わぬタイトルに掲載されていることもよくあり、出逢いがあるはず。利用は各プラットフォームから。Maruzen eBook Library ならデフォルトの「書名」を「本文」に変えて検索、JapanKnowledge Lib ではデフォルトの「見出し」を「全文」に変えて検索、KinoDen では詳細検索→書籍全文、などをためてください。

例) Maruzen eBook Library で「本文」を選択しキーワードを「敦異抄」で検索すると 545 件ヒットします。



3) データベース

契約しているデータベースは一覧で確認できます。図書館 TOP ページ→資料を探す→データベース一覧、あるいは次の URL から。

https://library.ryukoku.ac.jp/?page_id=103

カテゴリを絞り込むと求めるデータベースを探しやすくなります。電子ブックの各プラットフォームもこの一覧に掲載しています。以下、日本語で利用できるものをピックアップ。

<ことばを調べてみましょう：辞典・辞書>

- ・ JapanKnowledge Lib (図書館 TOP に説明動画あり)
- 「日本国語大辞典」「国史大事典」や、百科、言語、人名、歴史、地理、用語など 70 以上の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイトです。電子ブックも含まれます。

<日本の新聞を読み比べてみましょう。>

カテゴリ：新聞記事検索系データベース>

- ・ 日経テレコン 21 <日経新聞> (図書館 TOP に説明動画あり)
- ・ 聞蔵Ⅱ <朝日新聞>
- ・ ヨミダス歴史館 <読売新聞>
- ・ 毎索 <毎日新聞>

各社の新聞のほか、新聞社系の雑誌、企業情報、人名録、統計資料、世論調査結果、英文紙、時事用語辞典、写真アーカイブ、年表など。

<日本語の学術論文を検索してみましょう。>

カテゴリ：雑誌記事・論文検索 (国内) データベース>

- ・ CiNii Articles (図書館 TOP に説明動画あり)
- 認証をしなくても利用できるサービスですが、龍谷大学の構成員であるという認証を経てアクセスすると、龍谷大学が契約している論文・記事が読めるようになります。つまり、読める論文・記事がグッと増えます。

3. 図書等の郵送サービス

2020 年度第 1 学期は全学生を対象に、第 2 学期からは大学に通学できない学生に限定してサービスを継続しています。図書館 TOP に説明リンクがあります。図書等郵送サービスについて https://library.ryukoku.ac.jp/?page_id=442 申込は蔵書検索 (OPAC) から行います。

このように、龍谷大学図書館では、来館しなくても利用できるサービスを充実させています。ここに紹介したものは、入学されたらすぐお使いいただきたいものばかりです。わかりやすい説明動画を図書館 TOP ページに掲載しています。HP でご確認ください。

※掲載内容は、2021 年 2 月現在です。